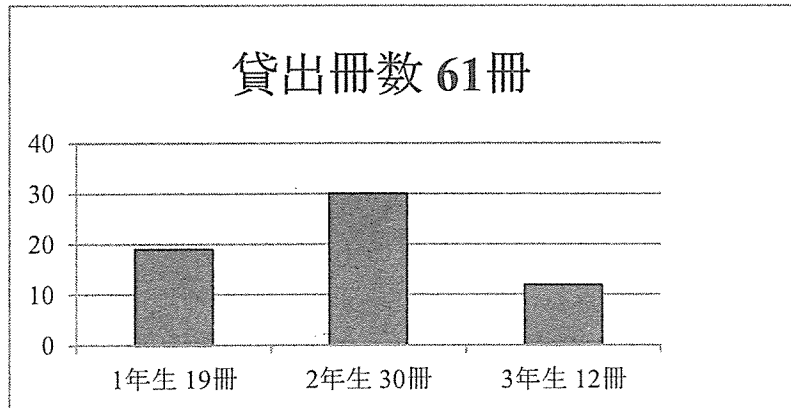


城陽高校図書館だより

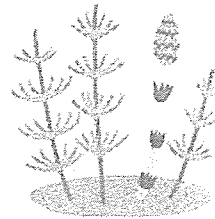
**ふみくら**

**2017-No. 10**  
平成30年3月20日  
京都府立城陽高等学校  
図書館発行

2月の図書館



開館日数 17日  
入館者数 189人



初桜折しも今日はよい日なり（松尾芭蕉）  
今年桜が早そうですね。

☆貸出冊数は昨年度の半分くらいです。（2年生は昨年度と変わらず、1・3年生が減りました。）

今年度の開館・春休みの貸出しは  
**20日 12:30 まで。**  
**春休みの開館はありません。**

♪何冊でもOK!♪

来年度は4月9日（月）始業式より開館します。みなさん元気でお会いしましょう！

100年後、今の本は古文書？ つぶやき/司書教諭 足立孝二

電車に乗っている人のほとんどが、スマホに見入っている。こんな風景にたびたび出会う。本を読んでいる人はごくわずかだ。漫画さえ読んでいる人も少ない。若者（だけではないが）の書籍離れがいわれて久しい。100年後はどうなっているだろうか？ 紙媒体の本は残っているだろうか？ ほとんどが電子化されているのかな？ 紙媒体のいわゆる「本」は古文書扱い？ 図書館はあるだろうか？ 町の本屋さんは？ 本の未来は？

**発表！** 今年度の城高ベストリーダー & ベストリーディング！！

☆ベストリーダー（たくさん借いた人）上位9名☆

1位	97冊	1-6	Mさん	
2位	60冊	2-6	Nさん	100冊越え、ダントツの人はいませんでした。
3位	48冊	1-7	Nさん	2位の2-6 Nさん、3位の2-7 Oさんは
		2-7	Oさん	1年生からの累計冊数が100冊を超えたので、
4位	42冊	1-3	Sくん	「3冊まで」の貸出し冊数制限がなくなります。
5位	41冊	1-6	Tさん	1位の1-6 Mさんももうすぐですね。今年度の卒業
6位	35冊	2-8	Tくん	生のベストリーダーさんの1,000冊を目指して、どん
7位	25冊	1-4	Kさん	どん読めるだけ読んでください！
		1-4	Oくん	

☆ベストリーディング（貸出の多かった本）10位まで☆

1位	小説 言の葉の庭 新海誠	
	Re:ゼロから始める異世界生活 1 長月達平	
	打ち上げ花火、下から見るか？ 横から見るか？ 大根仁	
4位	小説 心が叫びたがってるんだ。 豊田美加	
	金曜日のおはよう 藤谷燈子	
6位	世界から猫が消えたなら 川村元気	
	君の隣をたべたい 住野よる	
	夜行 森見登美彦	
	か「」く「」し「」ご「」と「」 住野よる	
	Re:ゼロから始める異世界生活 2 長月達平	
	Re:ゼロから始める異世界生活 9 長月達平	

昨年度の1位が今年度も1位でした！ 昨年度2位『君隣』も2年続けてランキング。ほとんどのタイトルが映画やアニメにもなっています。今年度は小説がよく読まれました。



## 内本の図書館に行こう ～その5～

「内本の図書館に行こう」は、今回で最終回になります。本年度、図書担当になり、色々な体験をさせていただきました。最終回にあたりましてやはり「本」の話をしていただこうと思います。

さて、本年度を振り返ってみて、一番印象に残っているのは「ビブリオバトル」に参加させていただいたことです。生徒の皆さんはビブリオバトルを知っていますか？

言葉は聞いたことがあるけど見たことはないという生徒さんが多いと思います。「本を使って何かを戦う？」「ゲームみたいなもの？」よくわかりませんね。ここで「ビブリオバトル」について少し紹介させていただこうと思います。ビブリオバトルとは、京都大学大学院に在籍されていた方が「本を通じた社会的なつながりが生まれる」ことに着目し、勉強会を面白くしていい本に出会う場にしようと発案した知的ゲームです。ルールは、発表参加者（バトルー）が面白いと思った本の紹介を5分間で行い、発表後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2分間行います。すべての発表が終了した後に、これが大切なのですが一番読みたくなった本に投票します。繰り返し言いますがプレゼンが上手な人に投票するのではなく本に投票するのです。

そのビブリオバトルに参加させていただいて、私が一番読みたくなった本を紹介します。くれぐれも言いますが、生徒の皆さんに読んでもらいたいと思う本ではなく、私が読みたくなった本です。

皆さんは、子供の頃（小学生の頃かな）よく見ていたテレビ番組は何ですか？ 私がよく見ていたのは、やはりヒーローものです。その中でも「ウルトラマン」シリーズは毎週欠かさず見ていました。現在も放映されていますので特に男子生徒さんは見たことがあると思います。ウルトラマンシリーズは、約50年前にヒーローが出てこない「ウルトラQ」に始まり、最初のヒーロー「ウルトラマン」続いて「ウルトラセブン」、「帰ってきたウルトラマン」・・・と延々と続いていきます。

ビブリオバトルに参加させていただいて一番気になった本は、そのウルトラマンに関する本で『ウルトラマン「正義の哲学」』（神谷和宏 著 朝日文庫）です。でも単なるヒーローものの紹介本ではないんです。気になった方は、図書館にありますので借りに来てください。



でも本当に読みたくなった本は、先ほどの本の関連本を探している時に見つけた、ウルトラマン第2回シリーズ「ウルトラセブン」でヒロイン「アンヌ」役を務めたひし美ゆり子さんが書いた『アンヌ今昔物語 ウルトラセブンよ永遠に…』（ひし美ゆり子著 小学館）です。生徒さんは「ウルトラセブン」なんて知らないかもしれませんが、今年度蔵書として購入されています。

最後に、今回で「図書館に行こう」シリーズは最終回となりました。本との出会いなんて不思議なものですね。一冊の本がきっかけでその人の人生が変わることもあります。私も高校生の時に、国語の時間に習ったある本がきっかけで人生が変わりました。その話は次回機会があれば書かせていただこうと思います。

皆さん、「図書館に行きましょう」。